



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 メディカル・データ・ビジョン株式会社
 コード番号 3902 URL <https://www.mdv.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 博之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ管理本部長 (氏名) 柳澤 卓二
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東
 TEL 03-5283-6911

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	3,153	14.4	782	69.4	784	69.7	527	68.9
2019年12月期第3四半期	2,757	14.7	461		462		311	

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 527百万円 (76.0%) 2019年12月期第3四半期 299百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	13.33	
2019年12月期第3四半期	7.79	

(注) 2019年12月期第3四半期連結累計期間及び2020年12月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	4,776	3,961	82.2
2019年12月期	4,948	4,023	80.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 3,927百万円 2019年12月期 3,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		0.00	0.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	19.2	900	11.2	900	11.9	600	8.2	14.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	40,027,526 株	2019年12月期	40,027,526 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	601,529 株	2019年12月期	1,529 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	39,535,486 株	2019年12月期3Q	40,026,008 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの主たる事業領域である医療関連業界におきましては、2020年7月に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針2020（骨太方針2020）において、オンライン診療について、電子処方箋、オンライン服薬指導、薬剤配送によって、診察から薬剤の受取までオンラインで完結する仕組みを構築することが盛り込まれている中、2020年10月の政府の規制改革推進会議において、オンライン診療・服薬指導の時的措置の恒久化へ向けた議論が開始されました。また、医療関連業界をはじめ、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大による影響は、予断を許さない状況にあります。当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績に重大な影響は観測されておりません。

このような事業環境のもと、医療機関向けのパッケージ販売を主としたデータネットワークサービスにおいては、DPC分析ベンチマークシステム「EVE」の導入数が778病院と、大規模なDPC実施病院のベンチマークデータを保有いたしております。また、病院向け経営支援システム「Medical Code」の導入数は266病院となりました。

また、新規サービスとして、看護必要度の正確な記録と適正評価を支援するクラウド型看護必要度分析アプリケーションである、「カンゴッチ+（プラス）」の提供を2020年9月から開始しました。

データ活用サービスにおいては、EBM（Evidence based medicine：根拠に基づいた医療）分野を中心に、主として製薬会社向けに、当社が保有する大規模診療データベースを用いた調査・分析サービス等の売上が順調で、2,017,288千円（前年同四半期比25.1%増）となりました。医療関連業界においてもビッグデータの活用が注目されている中、大規模診療データベースは、2020年9月末現在で、実患者数が3,332万人となりました。

また、診療情報共有及び医療費専用後払いサービス「CADA-BOX」の導入及び包括データ利用契約締結により、リアルタイム診療データベースは、2020年9月末現在で、80万人規模、そして、2020年4月より提供を開始した健康保険組合のデータベースは、2020年9月末現在で、598万人となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,153,460千円（前年同四半期比14.4%増）となり、売上総利益は2,687,157千円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

販売費及び一般管理費については、主に人件費や研究開発費の増加に伴い、1,904,568千円（前年同四半期比6.5%増）となりました。その結果、営業利益は782,588千円（前年同四半期比69.4%増）となりました。

営業外収益として主に補助金収入、営業外費用として主に自己株式の取得に伴う支払手数料を計上したことにより、経常利益は784,146千円（前年同四半期比69.7%増）となりました。

また、特別損失として固定資産除却損を計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は783,238千円（前年同四半期比69.6%増）となりました。

法人税、住民税及び事業税を222,508千円計上し、法人税等調整額を33,672千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は527,058千円（前年同四半期比68.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産残高は、前連結会計年度末と比べて171,938千円減少し、4,776,603千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて57,557千円減少し、3,814,449千円となりました。これは主に、自己株式の取得等に伴う支出をしたものの、売掛金の回収や製薬会社向け年間サービスの入金により、現金及び預金が111,225千円増加した一方で、売掛金が237,404千円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて114,380千円減少し、962,153千円となりました。これは主に、無形固定資産が56,175千円、有形固定資産が39,672千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比べて109,351千円減少し、815,229千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて109,572千円減少し、743,083千円となりました。これは主に、賞与の支給に伴い賞与引当金が97,727千円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて220千円増加し、72,146千円となりました。これは、資産除去債務が220千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産残高は、前連結会計年度末と比べて62,586千円減少し、3,961,374千円となりました。これは主に、利益剰余金が519,935千円増加したものの、自己株式を589,644千円取得したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年2月10日の「2019年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大による当社グループの事業への重大な影響は、現時点において観測されておりません。今後の状況の変化により、通期業績予想に修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,944,950	3,056,176
売掛金	757,420	520,015
原材料	12,804	14,224
その他	179,300	246,688
貸倒引当金	△22,467	△22,654
流動資産合計	3,872,007	3,814,449
固定資産		
有形固定資産	233,833	194,160
無形固定資産		
ソフトウェア	14,018	11,103
のれん	342,561	289,302
無形固定資産合計	356,580	300,405
投資その他の資産		
その他	491,286	472,754
貸倒引当金	△5,166	△5,166
投資その他の資産合計	486,120	467,587
固定資産合計	1,076,534	962,153
資産合計	4,948,542	4,776,603
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,709	23,540
未払法人税等	138,960	118,268
賞与引当金	100,167	2,440
その他	579,818	598,833
流動負債合計	852,656	743,083
固定負債		
資産除去債務	71,925	72,146
固定負債合計	71,925	72,146
負債合計	924,581	815,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,661	992,661
資本剰余金	1,756,245	1,763,567
利益剰余金	1,241,490	1,761,426
自己株式	△726	△590,371
株主資本合計	3,989,671	3,927,284
非支配株主持分	34,289	34,089
純資産合計	4,023,960	3,961,374
負債純資産合計	4,948,542	4,776,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,757,339	3,153,460
売上原価	507,864	466,302
売上総利益	2,249,474	2,687,157
販売費及び一般管理費	1,787,569	1,904,568
営業利益	461,905	782,588
営業外収益		
受取利息	161	22
補助金収入	—	2,000
その他	76	225
営業外収益合計	238	2,248
営業外費用		
支払利息	43	—
支払手数料	—	651
その他	6	39
営業外費用合計	49	690
経常利益	462,094	784,146
特別損失		
固定資産除却損	318	907
特別損失合計	318	907
税金等調整前四半期純利益	461,776	783,238
法人税、住民税及び事業税	177,890	222,508
法人税等調整額	△15,591	33,672
法人税等合計	162,299	256,180
四半期純利益	299,476	527,058
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,505	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	311,981	527,058

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	299,476	527,058
四半期包括利益	299,476	527,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	311,981	527,058
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,505	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年2月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式600,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が589,644千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が590,371千円となっております。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社等の買収)

当社は、株式会社システム ビー・アルファ（以下「Be・α」）の全株式の取得につき、以下の事項を前提とした決議を2020年7月13日開催の取締役会にて行い、株式譲渡契約を締結いたしました。当該株式譲渡契約に基づき、当社は2020年10月1日付でBe・αの株式の全部を取得し、連結子会社化いたしました。

(1) 株式取得の目的

当社グループは創業当時から、「医療・健康情報の一元化と利活用を促進し、生活者メリットの創出に貢献する」を目指して事業を推進しています。病院、クリニック、介護施設等をはじめとする、医療・健康情報の一元化を行うことで、患者が自身の診療履歴や健康状態を管理・閲覧できる環境の創出、また、データ分析による更なる医療の質向上に寄与できるものと考えております。

この度子会社化したBe・αは、健診システムの開発・販売、電子カルテ等の代理店販売事業を主軸とし、当該領域に関する知見及び九州地方を中心に中小規模病院やクリニックをはじめとする医療機関とのネットワークを保有しています。Be・αの経営資源を活用することで、当該領域の知見を吸収できるほか、健康診断など未病領域の情報をスピーディに集積できると考えております。

(2) 買収する会社の概要

名称	株式会社システム ビー・アルファ
事業内容	健診システムなどソフトウェアの開発・販売 電子カルテ等の代理店販売
資本金	35,000千円

(3) 株式取得の時期

2020年10月1日

(4) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

取得する株式の数	普通株式700株
取得価額	相手先との守秘義務があり、非開示としております。
取得後の持分比率	100%

(5) 支払資金の調達方法

自己資金